

夢甲斐塾 1月 運営会議議事録

○夢甲斐フェスタ実行委員会について

(組織)

- ・実行委員長については、郷育フォーラムとの兼ね合いもあるのでやらせてもらえればということで柴田さんが立候補。→ 全員賛同
- ・副実行委員長については、柴田実行委員長より10期稲葉さんへ打診。→ 稲葉さん了承

(日時、内容)

- ・次回以降の運営会議で提案する。

○森の防潮堤活動について

- ・10期萩原より1/12に横浜国立大学でおこなわれた青年塾の実践発表会の内容を報告。
- ・植樹用の苗を育てるキットを夢甲斐塾として20セット申し込み済み。夢甲斐塾生に声をかけ一緒に育ててくれる人を募集。
- ・キットの購入は通常4000円強(送料込)かかるが、会計と話をして約半額補助として2000円で購入できるかたちでおこなう。
- ・まずは事務局がメインで育てて、その後育て方などをほかの塾生に広げていく形がいいのではないかと。→ 会議に参加していた入倉、柴田、丸山、加藤、稲葉、厚芝、萩原が参加。
- ・残りの育苗セットはメーリングリストで希望者を募集する。

○名簿の整理

- ・各期で塾生の夢甲斐塾への関わり方を確認。各期の連絡係が連絡を行い、連絡が取れるかどうか、連絡が取れた塾生については今後塾からの情報を希望するかどうかを確認。その後MLおよび名簿への登録をするかどうか検討。(ある程度は連絡係の主観で判断)
- ・まずは連絡係へ内容の説明を電話で行う。基本的には事務局の各期担当が連絡。(同時に名簿をメール等で送る。)次回運営会議まで。

○13期例会について

- ・1月の例会を通して例会の行い方もわかった部分があったので、これからの公開例会にも活かしていきたい。
- ・次回は2/22(土)19:30～、会場は甲府北公民館。当初2/19の予定だったが夢甲斐カフェと重なったため変更。13期生が一番集まれそうな日として設定。
- ・内容は、先輩の話を聞いてもう一度初心に帰るということを考え中。(当日、13期リーダーよりMLにて先輩塾生11名から5分ずつ話をしてもらおうということで発信)

【上記内容に対して事務局からの意見】

- ・MLの内容について、話をする人に選ばれているようだが事前に何も聞いていない。まずは相手の確認をとってから流さないとよくないだろう。

→ 13期の中でもメールに頼りすぎていて良くないという意識があるので、1度実際に集まれる人で集まって確認をおこなっていきたいと思っている。

- ・「臨場感」とは何か？ 個々の活動を聞きたいのか、その期の活動を聞きたいのか？
- ・5分という短い時間の中で十分な内容になるのだろうか？
- ・先輩からの話は例会として考えなくても、毎週都合のつく方2～3人に話を聞く勉強会のような形でやってもいいんじゃないか。

【今後の例会について事務局からの意見】

- ・3月の例会の前に久遠寺の勉強会をおこなってもらえるとありがたい。事前に勉強した上で訪れることでより深いものになる。また、説明の際に質問ができるようになり、そこまで事前に調べてくるなんてさすがは夢甲斐塾といってもらえるようなかたちにしたい。
- ・出発式に向けて今のうちから塾長の予定を確認したほうが良い。

○14期生募集について

募集委員会となる12期生が出席しなかったため、今までの内容で変更が必要などころがないか確認。

- ・募集期間 → 締切は6/30、開始は5/1
- ・応募資格 → 昨年と同様、公開例会、もしくは入塾説明会への参加を条件とする。昨年も入塾説明会を何回も行ったので、ある程度覚悟をしておいてください。
- ・入塾金 → 2年目以降もかかるという意味合いを込めて「年会費」に変更したほうがいいのではないか。
- ・事前課題 → 「私の志」については、塾長の意向なので継続して行っていく。

※14期生の募集は12期生がメインであるが、今動いていて一番熱い13期生が話をすることが重要になる。

○その他

- ・次回の事務局会議は2/18(火)。カリキュラムの内容について検討したい。

以上